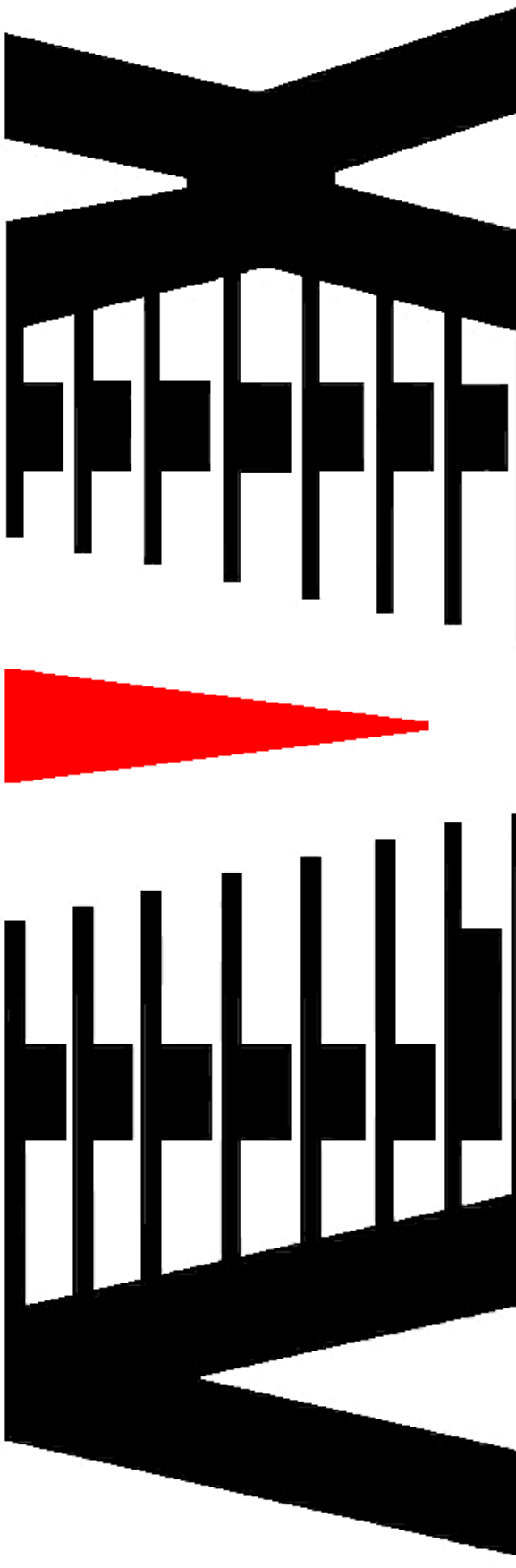
“アルビクス”　映像・音声エラー検出装置

VAD−816

取扱説明書

V01



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特徴　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　６
４．ネットワーク設定　・・・・・　９
５．STB 設定モード　・・・・・　１３

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1．主な機能と特徴

◇映像・音声のエラーが指定された時間以上連続した場合、
その状態をLANインタフェース（RJ-45）にてパソコン等へ通知します。

◇1台で16系統の映像・音声信号（L，R）のエラーを監視可能です。

◇4台のSTBを赤外線リモコンで制御、チャンネル切り替えを行い、
巡回監視します。

2．仕様

◆映像入力信号
　入力信号数　　：４系統
　信号形式　　：ＮＴＳＣ、アナログＶＢＳ
　接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆モニタアウト
　出力信号数　　：１系統
　信号形式　　：ＮＴＳＣ、アナログＶＢＳ
　接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆音声入力信号
　入力信号数　　：４系統
　信号形式　　：アンバランスステレオＬ，Ｒ
　接栓　　：ＲＣＡコネクタ

◆赤外線リモコン出力
　制御系統　　：４系統
　接栓　　：ＲＣＡコネクタ

◆外部通知
　通信仕様　　：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
　プロトコル　　：ＳＮＭＰ
　コネクタ　　：ＲＪ－４５モジュラ

◆ＳＴＢエラー検知項目
・ＳＴＢ異常（同期断エラー）
映像信号の入力が無い状態が発生した場合にエラーを通知します。

◆チャンネルエラー検知項目
各エラー項目は、エラー状態を通知するまでのマスク時間※
を指定することが可能です。　※６０秒以上

・ブルーエラー
映像がブルーの状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを通知します。

・ブラックアウトエラー
映像がブラックアウトした状態が指定秒数以上連続した場合に
エラーを通知します。

・フリーズエラー
映像がフリーズした状態が指定秒数以上連続した場合にエラーを
通知します。

・音声レベルエラー
オーディオ信号のピーク値を測定し、レベル異常の状態が設定された
時間以上連続した場合にエラーを通知します。

・無音エラー
オーディオ信号のピーク値を測定し、－６０ｄＢ以下の状態が設定された
時間以上連続した場合にエラーを通知します。

・逆相エラー
オーディオ信号の逆相状態が設定された時間以上連続した場合に
エラーを通知します。

・１ＫＨｚ検知
オーディオ信号が１ＫＨｚの状態が設定された時間以上連続した場合に
エラーを通知します。

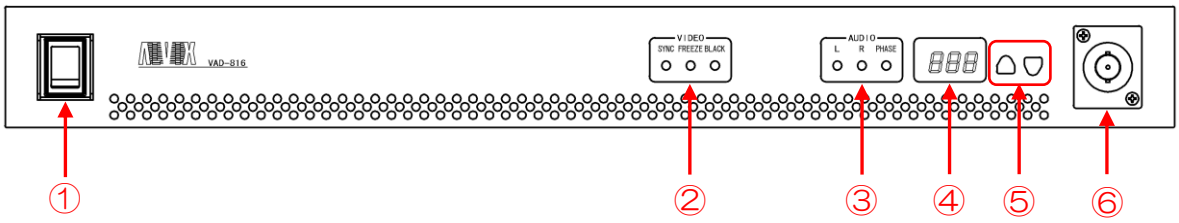
・フリーズａｎｄ無音エラー
映像がフリーズ且つオーディオが無音の状態が設定された時間以上
連続した場合にエラーを通知します。

・チャンネル切り替えエラー
ＳＴＢのチャンネル切り替えが失敗した場合にエラーを通知します。

◆外形寸法　：Ｗ４３０　×　Ｈ４４０　×　Ｄ３００　mm
◆重量　：約　３ｋｇ
◆電源電圧　：１００Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ
◆消費電力　：約　10W
◆使用温度　：５℃　～　４０℃

3．各部の名称と機能

3．1　フロントパネル



① 電源スイッチ
　本機器の電源ＯＮ／ＯＦＦを行います。

② ＶＩＤＥＯステータス表示
　ＶＩＤＥＯステータスのエラー状態をＬＥＤで表示します。
　・ＳＹＮＣ
　　同期断が発生した場合、点灯します。
　・ＦＲＥＥＺＥ
　　フリーズが発生した場合、点灯します。
　・ＢＬＡＣＫ
　　ブラックが発生した場合、点灯します。

③ ＡＵＤＩＯステータス表示
　ＡＵＤＩＯステータスのエラー状態をＬＥＤで表示します。
　・Ｌ
　　オーディオＬの無音が発生した場合、点灯します。
　・Ｒ
　　オーディオＲの無音が発生した場合、点灯します。
　・ＰＨＡＳＥ
　　逆相が発生した場合、点灯します。

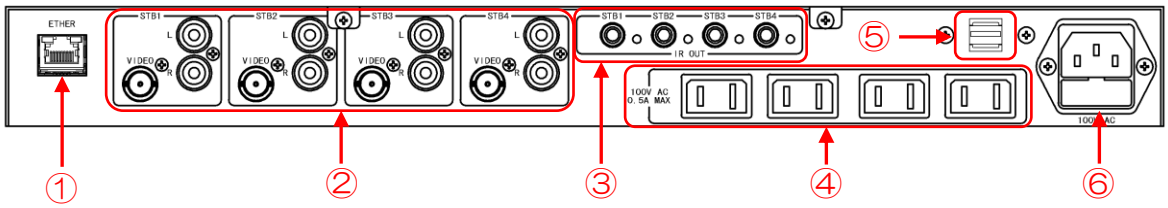
④ モニタ出力チャンネル表示
　モニタに出力されるチャンネル番号を表示されます。

⑤ モニタ出力選択ボタン
　・モニタに出力するSTB を選択します。
　　「　　0」：STB１～STB４を巡回しながらモニタに出力する。
　　「　　1」：STB１をモニタに出力する。
　　「　　2」：STB２をモニタに出力する。
　　「　　3」：STB３をモニタに出力する。
　　「　　4」：STB４をモニタに出力する。

　・モニタ出力選択ボタン２つを押しながら電源を投入すると
　　STB 設定モードになります。

⑥ モニタ出力
　各チャンネルの映像信号が巡回しながら出力されます。

3．2　リアパネル



① ＥＴＨＥＲ
　　ＬＡＮインターフェイスコネクタです。

② STB 入力信号
　　・VIDEO：映像コネクタ
　　アナログＶＢＳ信号を入力します。
　　・Ｌ：Ｌチャンネル音声コネクタ
　　オーディオ信号のＬチャンネル（主音）を入力します。
　　・Ｒ：Ｒチャンネル音声コネクタ
　　オーディオ信号のＲチャンネル（副音）を入力します。

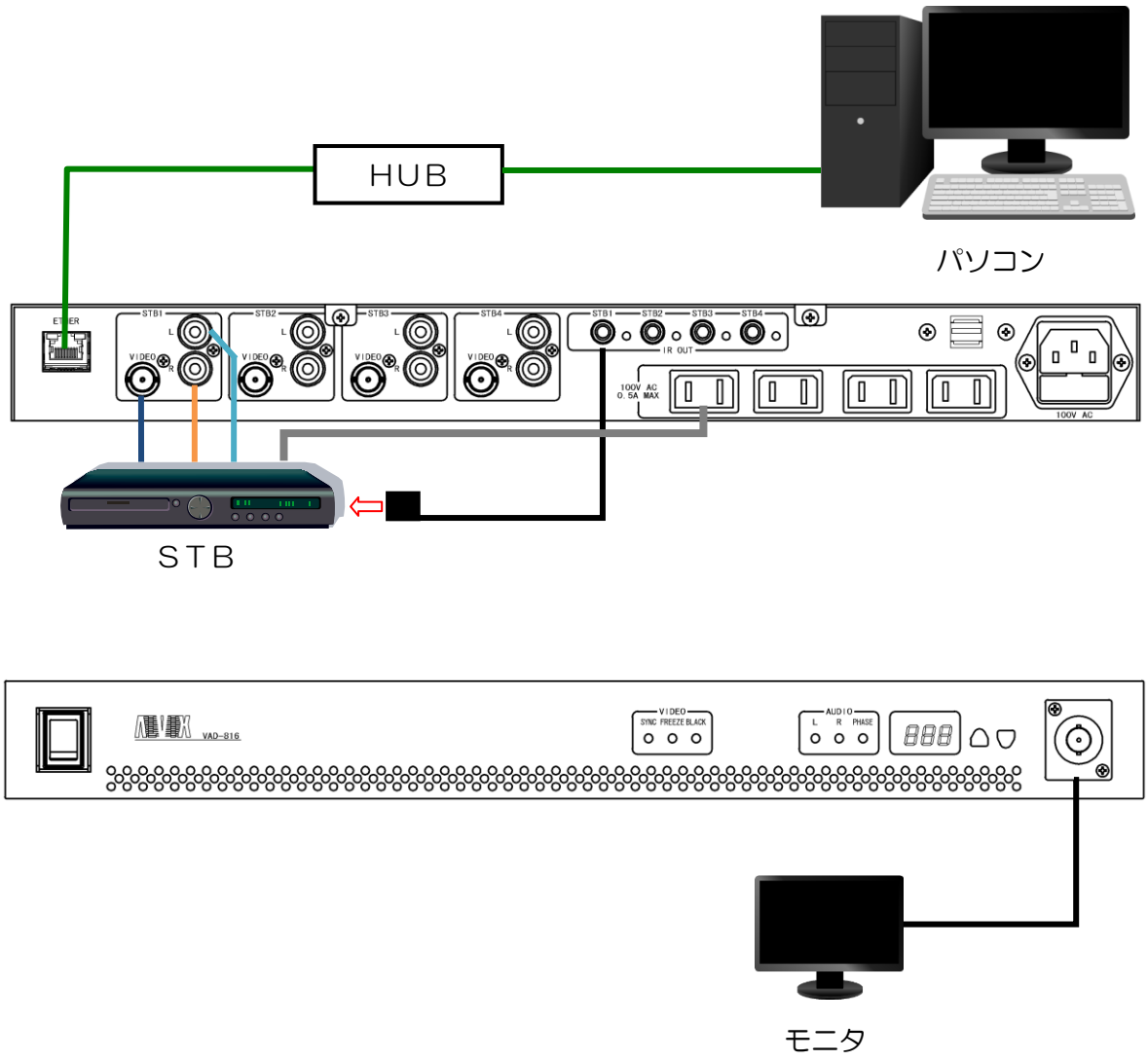
③ ＩＲアダプター接続用コネクタ
　　赤外リモコン信号を出力します。

④ STB 用 AC 出力
　　STB 電源用のＡＣ　１００V です。

⑤ USB 電源
　　DC５V 電源です。

⑥ ＡＣ入力
　　ＡＣ入力（３Ｐインレット）です。

3．3．接続方法


HUB
パソコン
STB1
STB2
STB3
STB4
VIDEO
IR OUT
100V AC
0.5A MAX
STB

VAD-816
VIDEO
SYNC FREEZE BLACK
AUDIO
L R PHASE
モニタ

4．ネットワーク設定

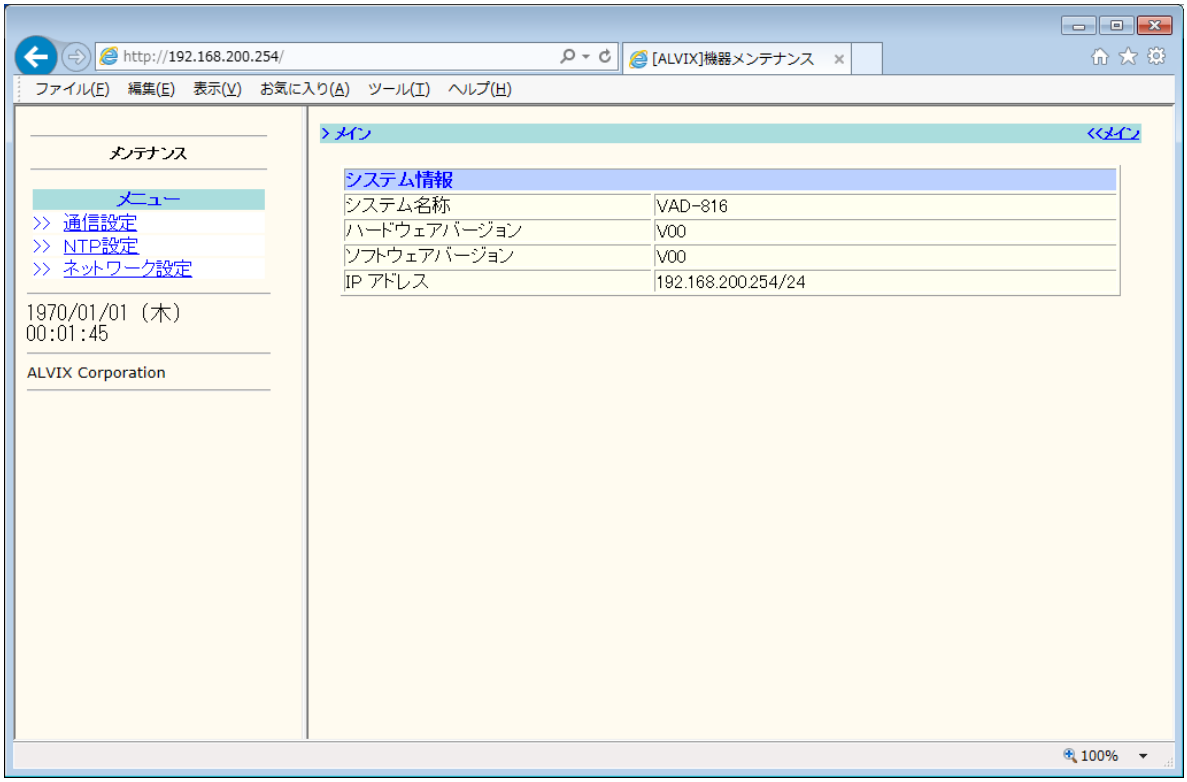
4．1　ＩＰアドレスの設定

1）ＶＡＤ－８１６の電源を投入した状態で、ＥＴＨＥＲ（ＳＮＭＰ）コネクタと Windows PC を LAN 経由で接続します。（クロスケーブル直結または HUB 経由）

※ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。

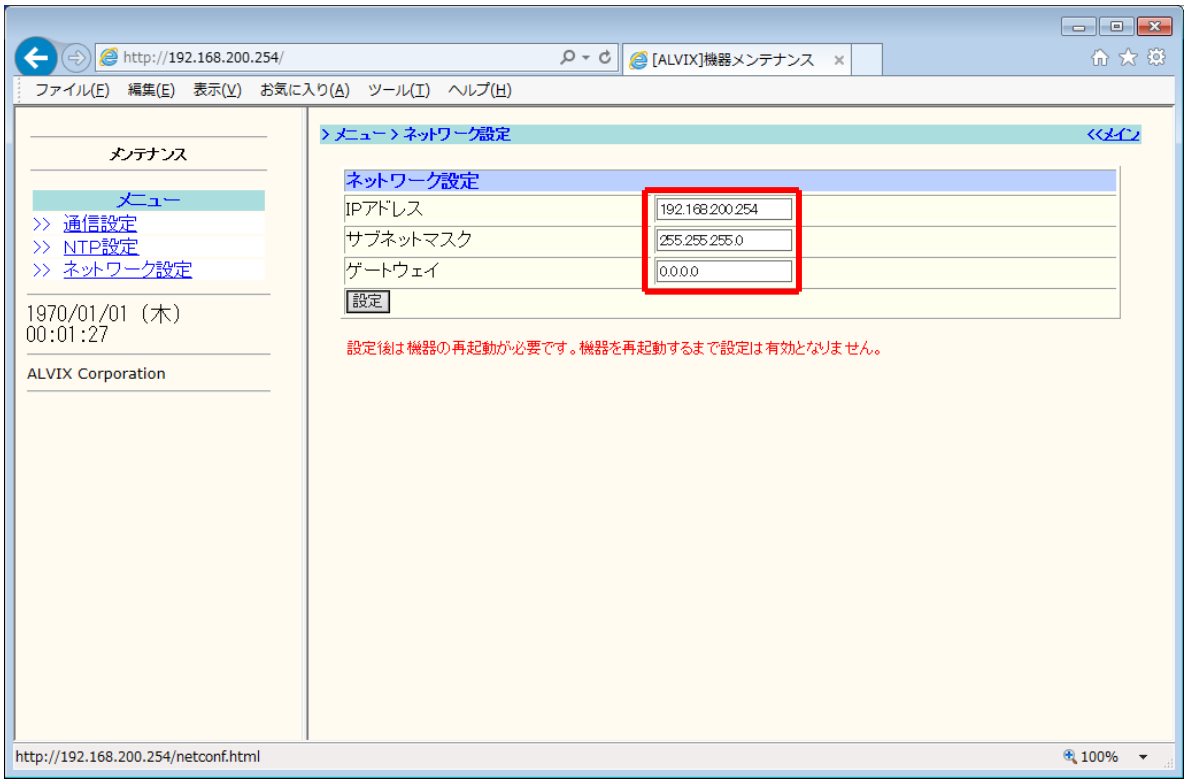
※InternetExporer10 以上を使用される場合は、互換表示設定に ＶＡＤ本体の ＩＰアドレス追加してください。

2）Windows PC 上で InternetExplorer を起動し、ＶＡＤ本体のＩＰアドレス（http://aaa.bbb.ccc.ddd/）を入力すると下記画面が表示されます。



（実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります）

3）ブラウザ画面左側の「ネットワーク設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、
ネットワーク設定で必要な項目を変更して「設定」ボタンをクリックします。
設定後はＶＡＤの電源を再投入します。

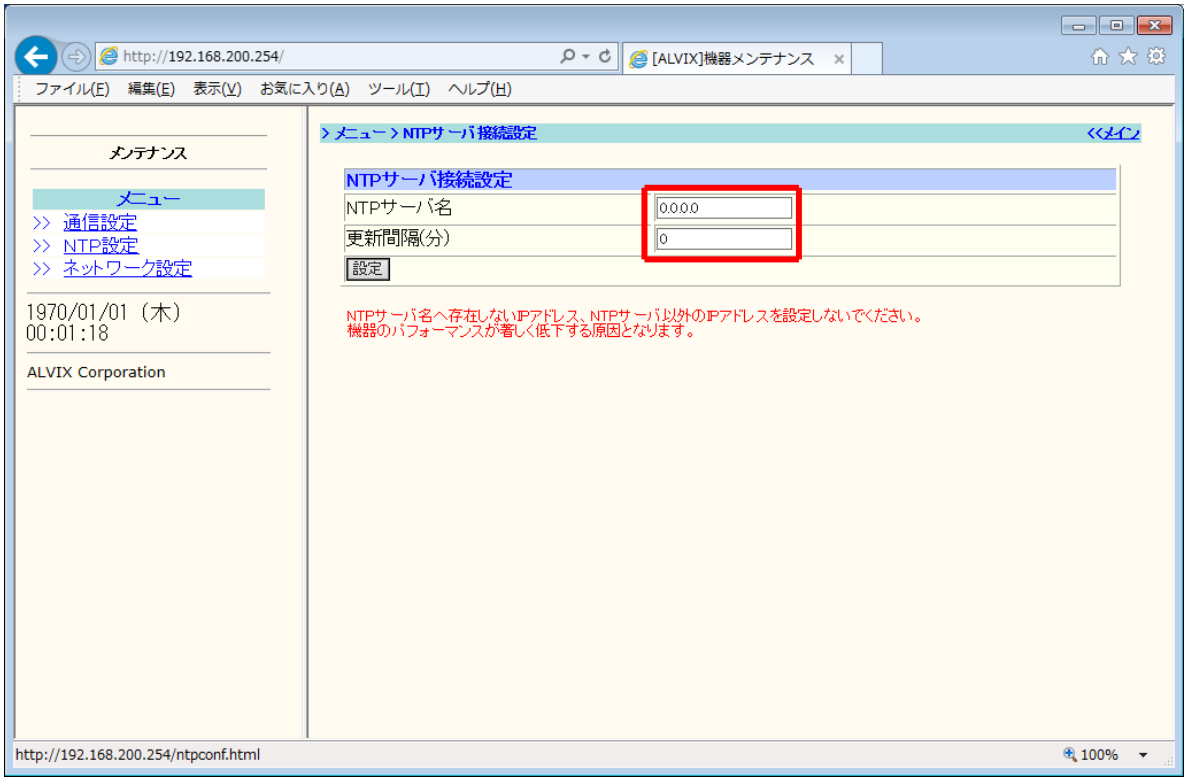


（実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります）

４．２　ＮＴＰサーバの設定

１）前項と同様の手順で「ＮＴＰ設定」をクリックすると下記画面が
　　表示されるので、ＮＴＰサーバ名の欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
（「０．０．０．０」に設定するとＮＴＰサーバは設定されません）
　　また、時刻更新間隔を分単位で設定する事が可能です
（最大 1440 分。０に設定した場合は時刻更新を行いません）

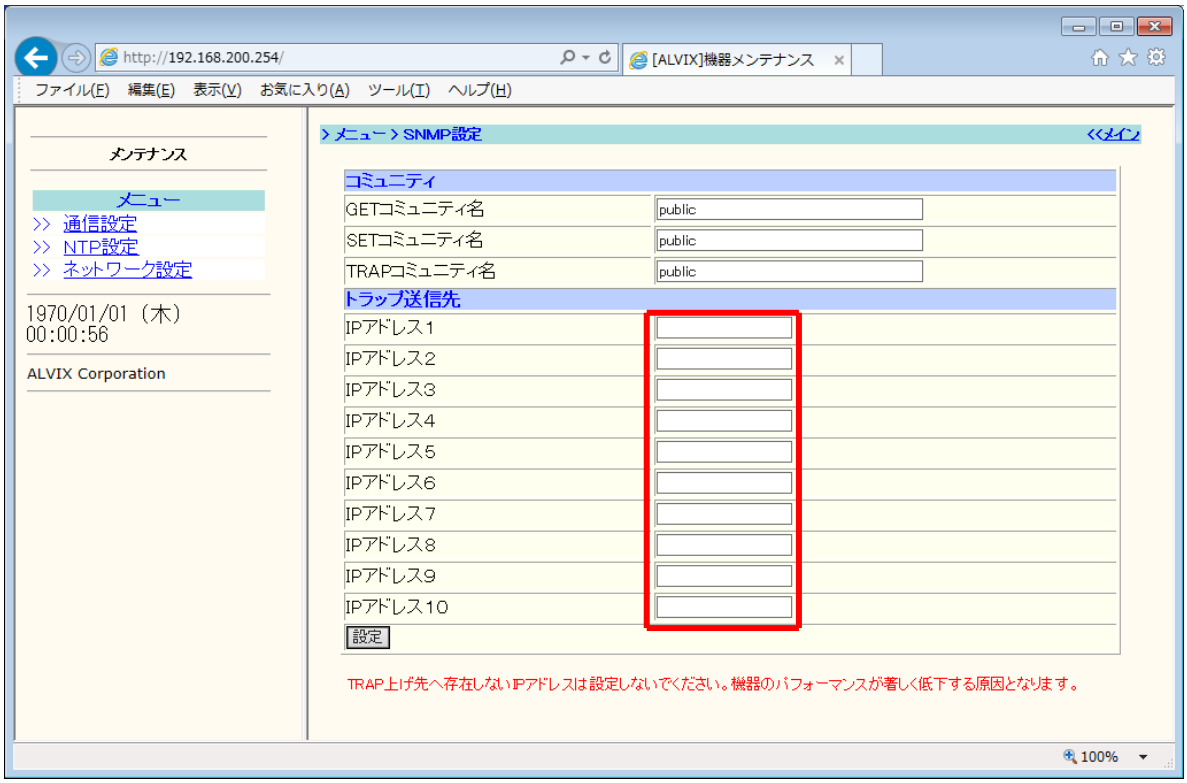
※ＮＴＰサーバＩＰアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスや
　ＮＴＰサーバが動作していないＰＣのアドレスは設定しないで下さい。
　ＶＡＤの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。



４．３　Ｔｒａｐ先ＩＰアドレス設定

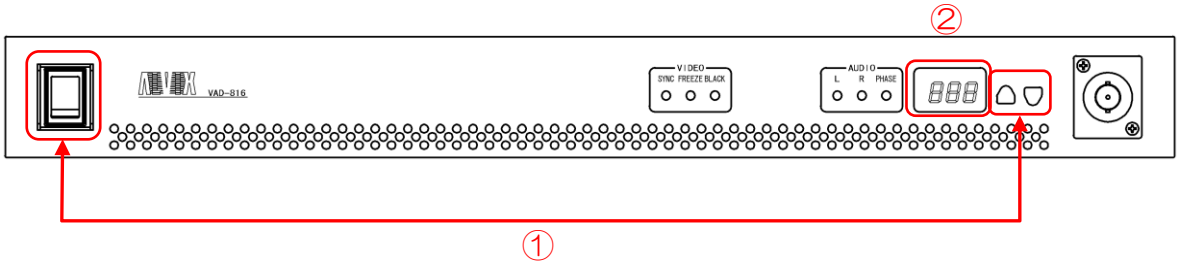
１）前項と同様の手順で「通信設定」をクリックすると下記画面が
　　表示されるので、Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスを設定して「設定」ボタンをクリックします。
　　（Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスは最大１０箇所まで設定可能です）

※Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないで下さい。
　ＶＡＤの通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。



5. STB 設定モード

STB 設定モードでは、STB１～４に入力されている信号をモニタ出力に出力します。
モニタ出力選択ボタンにてモニタ出力に出力する信号を選択することが出来ます。



◆ STB 設定モード設定手順

１）モニタ出力選択ボタン２つを押しながら電源を投入します。
（２０秒ほどボタンを押し続けてください。）

２）STB 設定モードに変わると、モニタ出力チャンネル表示が「０００」から
「　　1」（STB１）に変わります。

３）モニタ出力選択ボタンでモニタ出力に出力する信号を選択します。
「　　１」：STB１をモニタに出力する。
「　　２」：STB２をモニタに出力する。
「　　３」：STB３をモニタに出力する。
「　　４」：STB４をモニタに出力する。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒959―0214
新潟県燕市吉田法花堂1974－1
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８